令和6年度第1回亀山市図書館協議会 会議録

日時 令和6年5月29日(水) 午後2時から午後3時50分まで

場所 亀山市立図書館1階 多目的室

出席委員
岡野 裕行委員
井戸本 吉紀委員
稲ヶ部 明香委員
川口 恭子委員
下重 智子委員
横山 正委員
原 美津子委員
田中 愛子委員
服部 しづ子委員

欠席委員 川辺 一弘委員

事務局
亀山市教育委員会
教育部長 亀山 隆
図書館 館長 高重 京子
図書館 主幹 山川 美香
図書館 主査 大川 真梨子
図書館 主査 佐々木 孝英
図書館 主事(司書) 天野 史菜

■開会

1.あいさつ

【事務局】 令和6年度第1回亀山市図書館協議会を開催する。
本協議会は、「亀山市立図書館条例」に基づき開催する。

(資料の確認)

【事務局】 事項書に基づき、会議終了は15時30分を目途に進めさせていただく。
ここからの進行については、亀山市立図書館条例施行規則第7条第2項の規定により、岡野会長にお願いする。

2. 協議事項

(1) 亀山市立図書館運営評価について

【事務局】 事務局より説明

【川口委員】 「④子どもの読書活動を推進します」内に誤字がある。「図書館という場を生かし、学校への生きづらさを感じる児童生徒の居場所として」の「生きづらさ」は「行きづらさ」ではないか。

【服部委員】 「④子どもの読書活動を推進します」について、目指す姿があってから評価、今後の対応という流れであれば、重要な評価の中に「子どもたちの発達段階に合わせて読んでほしい本の情報発信がまだ不十分」とある。今後どういう風に対応していくか明記される方が良い。

「②図書館サービス実施計画を着実に進めます」の中で「社会見学や職場体験の受入れを行い、図書館の利用や魅力を案内し」とあるが、図書館の魅力を「案内する」という文言は適切か。

ニュースレターとは「としょかんたより」のことか。「年6回発行」と記載があるが、測定値では前年度発行は5回となっている。どういうことか。

【事務局】 ニュースレターとは「としょかんたより」のことである。発行回数について、累計して換算している。今回は開館からの令和4年度のものに加え、6回と修正する。

【服部委員】 「①図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます」について、「今後の対応」の「ホームページやSNS」と、「まちづくり協議会や福祉施設などとの継続的な意見交換」については、「②図書館サービス実施計画を着実に進めます」と内容が共通していると考えられる。どのように書き分けているのか。併記してもよいのではないか。

【事務局】 図書館サービス実施計画の中にも盛り込まれている内容である。今回は①の欄にも記載があるため、重なる部分は多くあるが、併記はしなかった。

【服部委員】 紙面スペースの都合もあると思うが、成果、対応の流れが分かると理解がしやすい。

【事務局】 文言は修正し、併記については調整するか検討する。

【横山委員】 22地区の地域まちづくり協議会とどういった連携をするか、どういった考えを持っているか聞きたい。

【事務局】 地域読書活動拠点の推進を図る。各コミュニティに図書を運び、利用してもらえるように活動を進めたいが、一斉に進めるのは地域まちづくり協議会の数が多く難しいため、順次進めていきたい。

また、地域まちづくり協議会の広報紙等を地域資料として集めていきたいと考えているため、ご提供いただければと思う。

【横山委員】 役員会、代表者会議で話を出してほしい。

【事務局】 案内を進め、ご協力をお願いしたいと考えている。

【井戸本副会長】 前回の協議会で出た提案・内容を踏まえていて良い。

「①図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます」の「今後の対応」の中にある「市の財政状況」について、図書館は継続的な予算が必要になる。協議会からの意見としても、予算を減らさないようお願いしたい。また、研修費を削りがちだが、市外県外の研究会等に行って知見を広めてほしい。

地域資料の収集において、まちづくり協議会の発行物を収集するのは積極的にしてほしい。他にも、行政関係のテーマ展示コーナーを、年に数回、まち協の展示として開放して使ってもらってはどうか。

「②図書館サービス実施計画を着実に進めます」について、共催イベント等の方針を定めていくのは重要。まずは内規からでも作っていったらどうか。文章にして図書館協議会で見せてもらえるとありがたい。

【事務局】

イベントのルール作りについては前回協議会でも意見を頂戴した。

できるだけ弾力的に使える要素を残しつつ、図書館は何でもありではないことを示していかなければならないということもあるので、ルールを今年度中にまとめる予定。協議会でもご意見をいただきたい。

【原委員】

「③蔵書計画に基づいた、図書資料の収集や保存を進めます」の中の「地域に関係する資料」について尋ねる。どういった地域資料があるのか。例えば、知事との対談で話題に上がった「いのこ」などの独自の文化についての地域資料はあるのか。地域の人も知らない情報まで、導入より深いところを展示してほしい。また、蔵書計画に「亀山の歴史や文化を伝える・残す」という文面は入れてほしい。

【服部委員】

同感である。

【事務局】

地域資料については広くとらえ、来歴の積み重ねを大事にし、体系的に集めていきたい。過去の図書館整備推進委員会でも数十年先を見据えて収集するようにと助言をいただいている。地域課題解決のために蓄積が必要である。歴史・地域特有の文化の資料については、当然収集するが、地域の研究者等が収集した資料等は買えるものではなく、貴重である。散逸しないように収集することが図書館の在り方であると考えている。まち協だよりなどもバックナンバーを含めて情報をいただきたいと考えている。なお、学校だより等は個人情報の扱いに配慮が必要になるが、整理しながら収集していきたいと考える。

【井戸本副会長】

人が集って行う地域芸能の開催が、コロナ禍や高齢化によって一気に減った。あと3、4年ほどしたら経験者もいなくなってしまう。博物館と連携して、動画などを保存しておくのも良いのではないか。

【岡野会長】

「③蔵書計画に基づいた、図書資料の収集や保存を進めます」の「今後の対応」の内、「レファレンス情報の蓄積」について、地域資料や行政資料は、その地域独自のもので、収集は図書館がやるべきことである。残すことと使うことは車輪の両輪であり、資料があれば利用者もうまく活用ができ、リテラシーが高まる。需要が高まり、求められるものも増えることで、残すことへの意識も高ま

る。それに関わるまちの人々が増えるといいと思う。

「④子どもの読書活動を推進します」の「子ども向けのイベント開催の割合が多く、大人向けの内容の企画をする必要があります。」について、子どもの読書環境の整備は大人の責任となるので、ぜひ進めてほしい。子育てへの関わり方は様々で、対象も保育園・幼稚園の先生、学校図書館職員、教諭、保護者、地域の人などターゲットを考え、どのようなイベントを行っていくのか掘り下げていくと良い。

【事務局】 本日、事務局での一次評価をお示しした。協議会でも評価いただいたものとしてまとめる。さらに市の行政評価にも図書館の実績として示し、外部評価を受けたいと思っている。その後、公開する予定である。

3. 報告事項

(1) 亀山市立図書館の運営状況について

【事務局】 事務局より説明

【服部委員】 資料4「令和5年度展示一覧」について尋ねる。「春の本あつめました」はあるが、夏、秋、冬はないのか。季節に応じた展示を考えてほしい。

【事務局】 ミニ展示はその時の話題に沿ったものなどで展示している。季節に応じたものも含め、今後も展示していこうと思う。

【原委員】 展示一覧に2階の子ども向けのミニ展示台、階段前のPOP展示等は資料のリストに入っていないのか。

【事務局】 前年度は別で統計してあったため、リストに反映できていない。

【岡野会長】 一つだけ2階ミニ展示台と表記があるが、この前後にも同じ場所で展示は行っているのか。

【事務局】 途切れることなく展示は行っている。

【井戸本副会長】 アルファ米の配布は良い。また、亀山高校の展示など、高校と連携が始まっているのも良い。

資料に連携展示について書く際に、担当課だけでなく、団体名など、連携先が見えるようにすると良い。

資料3「蔵書冊数（総計）」において、一般向け資料の哲学分野が大きく減って、逆に芸術系の資料は大きく増えているのはなぜか。

【事務局】 旧図書館からの移転や、リサイクル市に向けて閉架内の資料を整理したため、増減が出ている。また、寄贈資料等の整理をしたため、大きく数字が動いている。

【井戸本副会長】 資料2「令和5年度図書館利用状況」について。開館後、入館者数が落ちていないのが良い。貸し出し数も落ちていない。ただ電子図書館の利用の伸び悩みが気になる。周知は進めたほうが良い。

【事務局】 昨年度の初めには広報等で電子図書館の特集をしたことで、増えている

ということもある。公民館講座でも電子図書館の周知をさせてもらっている。

- 【服部委員】 資料6「令和6年度年間事業計画」の7月にある図書館ツアーについて、対象は児童のみか。
- 【事務局】 7月に第1弾として児童向けを開催する。市内の小学生は何度も来館しており、館内を知っている児童も多い。参加者の様子を見ながら、館内案内や閉架書庫見学などを考えている。今後は回数も増やし、一日司書体験なども行っていきたい。12月に大人向けを予定している。ターゲットを考え開催したい。
- 【服部委員】 図書館ツアーは県立図書館も行っているが、普段は入れないところまで見られるのが魅力だと感じる。ぜひ楽しい企画を考えてほしい。
- 【岡野会長】 誤字訂正として、資料4「令和5年度展示一覧」の一部、R6がR8になっている。また、おひなさまの展示のみ、西暦の表記になっている。

(2) 令和5年度「亀山市子どもの読書活動推進計画(第4次亀山っ子読書推進プラン)実績・進捗状況表について

- 【事務局】 事務局より説明
- 【田中委員】 11月から始まった「ほんくる。」は良い。学校の図書や、読み聞かせだけではマンネリ化する。朝の会でも読みきかせすると借りたい、読みたいという子が多くいるが、人気の本は借りに行っても借りられない。
- 【岡野会長】 成果指標の児童図書の冊数について、令和5年度が7千冊ほど減っているのはなぜか。また、資料6では63,568冊、資料3「蔵書冊数(総計)」では54,577冊で、照らし合わせたときに数がずれているのはなぜか。
- 【事務局】 資料6で児童図書が7千冊ほど減って見えるのは、関図書室の資料を計算に含んでいるため、資料3「蔵書冊数(総計)」は関図書室の資料を含まない数値になる。
- 【川口委員】 資料7「令和5年度『亀山市子どもの読書活動推進計画(第4次亀山っ子読書推進プラン)』実績・進捗状況表」の「地域学習資料の収集及び活用」の項目で、ひみつ本の更新は進捗に上げるほどのことか。事務的なことで異質に感じる。
「学校図書館活用アドバイザー」について「活用」が抜けているところがある。「亀山市図書館情報協議会」についても混同してしまうため、改めて文言の整理が必要と考えている。
- 【田中委員】 中高生を対象としたイベントの開催について、参考として井戸本副会長のアドバイスを受けたら良いのではないか。
- 【井戸本副会長】 筋力トレーニングや栄養学などスポーツ関係のイベントをしたところ、盛況だった。普段来ない子が図書館に来てくれるかもしれない。やるならば県や市の大会と被らない冬にやるのがいい。ピアノリサイタル等すると来てくれるのではな

いか。

【川口委員】 連携している担当部署がいくつかあるのならば、年に一度くらいは担当者が集まった会議をしてほしい。実績等見ていると同じような文言ばかりだが、ワーキング会議をすると互いのやっていることが見え、整理ができて良くなるのではないか。

【事務局】 子どもの読書活動推進、図書館という場を使って子どもへ学びを広めることを市の重点施策の一つとしている。部署を越えてプロジェクトとして行っていく上で、作業部会で読書活動推進について、図書館の活用についても話をしている。

(3) 亀山市立図書館サービス計画の進捗状況について

【事務局】 事務局より説明

【井戸本副会長】 誤字の訂正。

3ページ目「を」は「3」の間違いではないか。

6ページ目2段目が空白だが、「2」が抜けているのではないか。

【事務局】 事務局から補足として、資料の7ページ目は成果指標となっている。進捗状況の数値を入れてある。ニュースレターの発行回数は6回と表記してあるが、正しくは5回である。

【田中委員】 資料7「令和5年度『亀山市子どもの読書活動推進計画（第4次亀山っ子読書推進プラン）』実績・進捗状況表」には令和8年度とあるがどういうことか。

【事務局】 計画の最終年度が令和8年度である。

4. その他

【事務局】 次回は10月末頃を予定している。

第2回図書館協議会では蔵書計画の骨子案を提出する予定となっている。

協議会委員は今年度末で任期満了となる。次期委員の選任に関しても進めていく。

【閉会】